

コメント

1. 手足口病

定点当たり2.79人と減少しています。安芸区では7.0人と特に多く、安佐南区4.0人となっています。

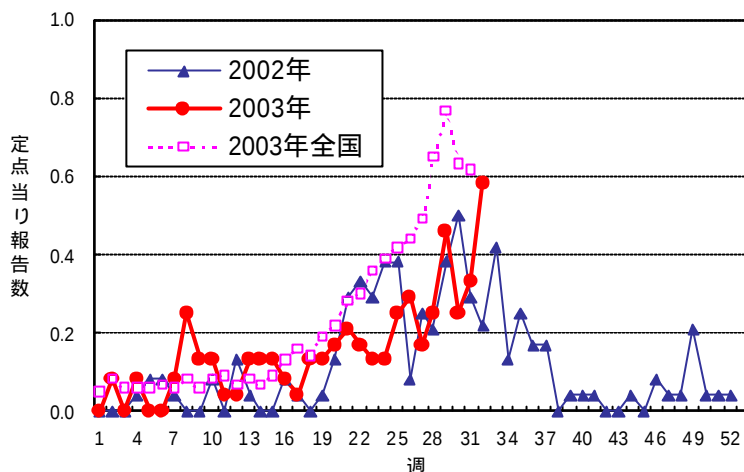
2. ヘルパンギーナ

定点当たり2.54人とやや減少しています。安芸区では12.0人と特に多く、佐伯区3.0人となっています。

3. 咽頭結膜熱

定点当たり報告数は0.58人で、増加傾向がうかがえます。

咽頭結膜熱



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

	報告数	定点当り	平均 過去3年間 (注1)	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	平均 過去3年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ	-	-	-		麻疹(注2)	-	-	0.08	
咽頭結膜熱	14	0.58	0.18		流行性耳下腺炎	12	0.50	1.31	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	0.26		急性出血性結膜炎	-	-	0.38	
感染性胃腸炎	63	2.63	1.99		流行性角結膜炎	14	1.75	2.54	
水痘	27	1.13	0.60		急性脳炎(注3)	-	-	-	
手足口病	67	2.79	1.94		細菌性髄膜炎	-	-	0.05	
伝染性紅斑	12	0.50	0.42		無菌性髄膜炎	4	0.57	0.95	
突発性発疹	28	1.17	1.03		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14	
百日咳	2	0.08	-		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	0.06	
ヘルパンギーナ	61	2.54	1.75						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去3年間の同時期平均 (定点当り)
(注2) 成人麻疹を除く
(注3) 日本脳炎を除く
(注4) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	南区・女性(13歳)・O157

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	第30週 第31週 第32週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅 斑	突発性発 疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (注1)	流行性耳 下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	急性脳炎 (注2)	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺 炎	クラミジア 肺炎 (注3)	成人麻疹
報告数	広島市	第30週	-	6	25	59	32	232	13	23	-	-	73	-	9	-	14	-	-	7	-	-	-
		第31週	-	8	24	55	39	105	13	26	1	-	86	-	11	-	19	-	-	2	1	-	-
		第32週	-	14	29	63	27	67	12	28	2	-	61	-	12	-	14	-	-	4	1	-	-
定点当 り	広島市	第30週	-	0.25	1.04	2.46	1.33	9.67	0.54	0.96	-	-	3.04	-	0.38	-	1.75	-	-	1.00	-	-	-
		第31週	-	0.33	1.00	2.29	1.63	4.38	0.54	1.08	0.04	-	3.58	-	0.46	-	2.38	-	-	0.29	0.14	-	-
		第32週	-	0.58	1.21	2.63	1.13	2.79	0.50	1.17	0.08	-	2.54	-	0.50	-	1.75	-	-	0.57	0.14	-	-
	広島県	第30週	-	0.92	0.63	2.35	1.32	13.39	0.37	0.76	0.03	-	2.20	-	0.43	0.10	1.70	-	-	0.62	0.05	0.05	-
		第31週	-	0.68	0.64	2.40	1.71	8.21	0.33	0.92	0.01	-	2.44	0.04	0.36	0.05	1.75	-	-	0.33	0.19	-	-
		第32週	-	0.63	0.76	2.32	1.04	4.07	0.25	0.76	0.01	0.02	4.36	0.05	0.60	0.03	1.11	0.00	0.01	0.16	0.21	0.01	0.01
全国	全国	第30週	0.00	0.63	0.76	2.32	1.04	4.07	0.25	0.76	0.01	0.02	4.36	0.05	0.60	0.03	1.11	0.00	0.01	0.16	0.21	0.01	0.01
		第31週	0.00	0.62	0.68	2.38	1.08	3.59	0.29	0.85	0.01	0.02	3.96	0.05	0.62	0.04	1.25	-	0.01	0.20	0.19	0.00	0.01

(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	4	男	東区	2003/07/03	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
気管支炎、無菌性髄膜炎	0	男	県外	2003/06/01	咽頭拭い液 髄液	エンテロウイルス71型
手足口病	0	女	東区	2003/07/05	糞便	エンテロウイルス71型
手足口病、無菌性髄膜炎	7	男	東区	2003/06/09	咽頭拭い液 糞便	エンテロウイルス71型
手足口病、無菌性髄膜炎	7	男	東区	2003/06/09	糞便	エコーウイルス30型
扁桃炎	7	女	佐伯区	2003/07/01	咽頭拭い液	アデノウイルス3型

(検査情報) 広島市における手足口病患者からの病原体分離状況 (2003年5月～7月)

検出病原体	5月	6月	7月	計
コクサッキーウイルスB2型		2		2
エコーウイルス30型		1		1
エンテロウイルス71型	1	3	2	6
アデノウイルス2型		1		1
アデノウイルス3型		1		1
計	1	8	2	11

手足口病の主な病原ウイルスはコクサッキーウイルスA16型とエンテロウイルス71型ですが、2003年はこれまでにエンテロウイルス71型が6人からと、最も多く分離されています。分離陽性者の年齢は3歳2人、1歳、2歳、4歳および6歳が各1人となっています。なお、無菌性髄膜炎を併発した1人からはエコーウイルス30型が同時に分離されました。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2003年第32週(8月4日～8月10日)